

JICA家畜衛生分野の関連イベントのご案内



1. TICAD7 サイドイベント

「アフリカにおける人獣共通感染症との闘い：日・OIE協調プログラム」

●8月28日(水) 15:30～17:00 パシフィコ横浜、アネックスホールF203

【第一部】人獣共通感染症等の課題解決に向けたJICAとOIEとの協力関係強化のための趣意書(Letter of Intent)の署名

【第二部】OIE関係者、JICA、国内の獣医学分野の研究者の登壇のもと、アフリカ地域における人獣共通感染症の課題解決に向けたパネルディスカッション

2. 第31回OIEアジア・極東・太平洋地域総会 サイドイベント

「アジアにおける獣医人材育成」

●9月4日(水) 17:30～19:00 仙台国際センター 白樺(4F)

【第一部】日本獣医師会による獣医人材育成の取組みについて

【第二部】JICAによる獣医人材育成の取組みについて

3. 第162回日本獣医学会学術集会(シンポジウム)

「世界に繋がる獣医師のキャリアパス～国際機関での経験を中心に～」

●9月12日(木) 13:00～16:00 つくば国際会議場

国際機関業務、インターンシップ・留学・フェローシップ、国際機関に繋がるキャリアパス等紹介

分科会の概要(地域・国別)

分科会名	概要	2019年度の予定
①ASEAN・フードバリューチェーン	JICAとASEANとの間で実施予定の『フードバリューチェーン構築支援関連プロジェクト』(協力分野:①ASEAN-GAP、②SPS、③クラスター形成)の実施に当り、国内関係組織(業界団体・民間企業、大学・研究機関、官公庁等)と意見交換、案件形成を行います。	第1回:2019年12月(調整中)
②インドネシア	JICAがインドネシアで実施する農業・農村開発関連プロジェクトの実施に当り、国内関係組織(業界団体・民間企業、大学・研究機関、官公庁等)との意見・情報交換を行います。	第1回:2019年5月下旬
③ミャンマー	JICAがミャンマーで実施する農業・農村開発関連プロジェクトの実施に当り、国内関係(業界団体・民間企業、大学・研究機関、官公庁等)との意見・情報交換を行います。2018年度に行われた第2回目の会合では、ソバやゴマなど具体的な連携について活発な議論が行われました。同会合での民間企業様からの提案を受け、黒ゴマに関しては種子に関する調査団を派遣し、民間企業10社以上を含む関係者との個別具体的な議論を展開しております。	第1回:2019年12月下旬
④中南米・フードバリューチェーン	中南米における産官学協働事業の形成のため、意見交換を行います。2019年度は、参加団体様からのビジネス提案を受け付け、開発効果や実現性の高いアイデアは、JICA調査(ビジネスモデル組成)や現地セミナーを実施予定です。また、日本とのビジネスを志向する現地業界団体等を日本に招聘し、参加団体様とのビジネス対話の機会を提供します。	第1回: 2019年4月25日 第2回: 2019年7月19日
⑤アフリカ・フードバリューチェーン	アフリカにおける産官学協働事業の形成のため、意見交換を行います。2019年度後半には、参加団体様からのビジネス提案を受け付け、開発効果や実現性の高いアイデアは、JICA調査(ビジネスモデル組成)や現地セミナーを実施予定です。	第1回: 2019年4月25日 第2回:2019年9月下旬(調整中) 第3回:2020年1月(調整中)
⑥アフリカ稲作(CARD)	アフリカ稲作イニシアティブを推進するため、産官学の関係者で意見交換や具体的な取り組みについて検討を行います。	第1回:2019年第3四半期(調整中)

※開催場所:JICA本部・研究所に加えて、在外事務所、国内機関とTV会議接続します。

分科会の概要(分野・作物別)

分科会名	概要	2019年度の予定
⑦スマートフードチェーン	育種・農業・加工・物流各分野のスマートフードチェーンの産官学関係者と最新の動向の共有及び今後のODA事業としての取り組みについて意見交換を行います。特に、現在JICAではゲノム編集による育種や、衛星利活用によるモニタリング、IoT技術の活用、FINTECHの活用などを実施しており、これら事業に関する今後の取り組みの可能性を検討します。	第1回：2019年9月
⑧農業機械	業界団体及び大学／研究機関との協力により、農業機械化推進のための議論・ODA事業における取り組みについて意見交換を行います。2019年度にJICAは、参加団体様とも意見交換の上、アフリカ地域の稲作農業機械を対象に、セネガル、タンザニア、コートジボワールの現地調査を行います。	第1回： 2019年4月25日 第2回：2019年9月 (調整中)
⑨ゴマ	業界団体及び大学／研究機関との協力により、安心安全なゴマ生産・流通の推進のための議論・ODA事業における取り組みについて意見交換を行います。2018年度会合では、パラグアイ、ミャンマー、ブルキナファソにおけるゴマの日本への輸出上の課題やJICAプロジェクトによる解決策など、具体的な議論が行われました。	第1回：2019年11月 (調整中)
⑩畜産	途上国における畜産振興、家畜衛生強化、獣医人材育成、及びOne Health(人獣共通感染症対策等)推進のために、関係組織(業界団体・民間企業、大学・研究機関、官公庁等)との意見・情報交換を行い、関係者ネットワークの構築、効果的な案件形成・実施を予定しています。	第1回： 2019年7月30日
⑪水産	水産協力を担当するJICA職員、派遣専門家及び水産人材ネットワーク参加者(水産系大学、水産研究機関、民間企業等を想定に今後形成予定)を対象として、我が国の水産協力の活動の成果及び課題を共有し、併せてネットワークの強化を図る勉強会等を開催する。	検討中

分科会の概要(日本の経験・地方創生)

分科会名	概要	2019年度の予定
⑫ 人材育成	<p>JICA開発大学院連携構想に関連し、①明治近代化期から現代に至るまでの我が国の農業・農村開発の経験、②アジアでの開発経験(我が国ODAの経験を含む)、③農業生産から加工、流通、消費までのフードバリューチェーンにおける日本の最新技術、などを農林水産分野の留学生に学んでいただくための講義モジュール・関連教材について議論を行います。</p> <p>また、JICAでは、農林水産分野において、2020年から2030年までの10年間で1,000名程度の留学生を受け入れる計画ですが、留学生事業における産官学連携について意見交換します。</p>	<p>第1回：2019年9月 (調整中)</p> <p>第2回：2020年3月 (調整中)</p>
⑬ 日本の地方創生	<p>「技能実習生を送り出す途上国の農村」と「技能実習生を受け入れる日本の地域」の『信頼』関係強化により、①技能実習生の質の確保・マッチング強化・事前研修への協力、②帰国後の農業開発の支援を図り、途上国の農村と日本の地方が共に発展するモデルの構築を行うため、優良事例などの情報共有・事業形成を行います。</p>	<p>第1回： 2019年7月19日</p> <p>第2回目以降調整中</p>

※開催場所：JICA本部・研究所に加えて、在外事務所、国内機関とTV会議接続します。